

くじようがわ

苦情川

(石浜)

緒川の山地から流れ出て、石浜との境をとおり、

衣浦湾に注いでいる明徳寺川は、むかしから、

川下の水田の大切な農業用水となっていて

した。そのため、日照りが続いたときには、この

川の水をとり合って、緒川村と石浜村との間に

しばしば激しい水争いが起こりました。

「こう雨が降らんじや、田んぼの稲が枯れちま

うぞ。」

「雨乞いの天焼きも、ご利益ないし、ため池の水

も使っちゃまった。こうなったら、明徳寺川の水を取るより仕方なからう。」

緒川村ではひそかに新しい溝を掘って、

明徳寺川の水を緒川村の田へ引こうとしました。

た。

しかし、このことが石浜村の水番にすぐ見つ

ってしまいました。

「石浜村にはため池がないのだから、この川の水

だけがたよりなんだ。このごろでは、この川の水も少のうな

って、困るところだ。川の水を取らんできてくれ。」



「緒川村のため池は、とつくにからっぽだ。少し
でも水のあるのは、明德寺川だけだぞ。少し

くらい使わせてもらってもええじゃないか。」

「だめだ、だめだ。そんなことをしたら、石浜村

の新田は、みんな干上がっちゃう。」

「なに言ってるんだ。だいたい、この明德寺川

の水は、緒川の土地に降った雨を集めとるん

だぞ。それを緒川村が使って何んで悪い。」

「緒川村はため池の水を、石浜村は、明德寺川

の水をとるのが、お上も認めてくださった、

むかしからのしきたりじゃないか。それを今

さら変えようたって、そうはいかん。」

ついに話し合いがつかなくなると、「おそれな



▲ みょうとくじがわりゅういきようすいろず
 明徳寺川流域用水路図

がら」と、お上かみに訴うったえ出でたこともしばしばで
 した。そのために、明徳寺川みょうとくじがわのことをだれ呼よ
 ぶとなく、「苦情川くじょうがわ」というようになりまし